

令和7年度第1回福井県立図書館運営懇話会 開催結果

日 時 令和7年10月21日(火) 15:00~16:09

場 所 県立図書館 研修室

出席者 (委員) 佐藤実紀代委員、徳島泰彦委員、長岡亜生委員、宮下奈都委員、村松克紀委員、
吉水祥子委員
(事務局) 県立図書館・ふるさと文学館職員

議事(1) 会長、副会長の選出

- ・会長は、事務局が長岡亜生委員を提案し、承認された
- ・副会長は、本運営懇話会開催要綱第4条第2項により、長岡会長が徳島泰彦委員を指名した

(2) 令和7年度の状況について

- ・利用状況
- ・上半期の取組と達成状況(図書館)
- ・上半期の取組と達成状況(ふるさと文学館)

(3) その他

- ・新システムについて
- ・電子書籍サービスについて

【主なご意見・ご質問】

- ・これまでのジュニア司書養成講座で認定された子どもたちが後輩に活動を広めていく企画など、キャリアアップの機会があるとよい。
- ・図書館ではないが、本関係のイベントをした際に20~30代の参加者が多いと感じる。図書館も良い企画が多いので、もっと周知されるとよいと思う。
- ・県立図書館のイベントチラシはよく目にするが、いろんな地域から来たいと思える魅力的なイベントを発信してもらえるとよい。
- ・文庫の書架の最下段が見にくく、膝をかがめるのが難しいため、ご一考いただきたい。
- ・県立図書館は電子書籍サービスの説明の機会を多く設けて周知されているが、今後、市町立図書館と連携して進めていく予定はあるのか。
⇒今後も希望される市町立図書館に出向いて電子書籍体験会を実施していく。
- ・年代的に電子書籍に抵抗を感じるが、教えてもらえる機会があるのはよい。
- ・図書館は女性の非正規職員に支えられているという記事を見たが、福井県は非正規職員の順位が最下位、つまり正規職員が多かったのが良かった。この運営懇話会も委員、職員とも女性が多く、素晴らしいと感じた。